

令和2年度インターネットアンケート調査の概要
 (DV防止・被害者支援基本計画(第5次)に向けての県民意識調査)

調査時期	令和2年12月～令和3年1月	平成27年8月～9月
回答状況	調査対象者数: アンケート調査協力員 1,538人 回答者数: 225人 回答率: 14.6%	調査対象者数: アンケート調査協力員 1,639人 回答者数: 220人 回答率: 13.4%

1 回答者の構成

(1) 居住地域

回 答	令和2年度	平成27年度
千葉地域	32.9%	30.0%
葛南地域	30.9%	22.7%
東葛飾地域	18.7%	21.4%
北総地域	8.4%	12.3%
南房総地域	5.8%	4.5%
東上総地域	4.0%	9.1%

(2) 年齢

回 答	令和2年度	平成27年度
1 18～19歳	0.4%	0.0%
2 20～29歳	1.0%	3.6%
3 30～39歳	3.6%	6.8%
4 40～49歳	14.2%	21.8%
5 50～59歳	20.4%	20.5%
6 60～69歳	20.4%	25.5%
7 70歳以上	40.0%	21.8%

(3) 男女別

回 答	令和2年度	平成27年度
1 男性	72.9%	67.3%
2 女性	26.7%	32.7%
3 その他	0.4%	
計	100%	100%

2 調査結果

(1) DV(ドメスティック・バイオレンス)について知っていますか。

(一つのみ選択)

回 答	令和2年度	平成27年度
1 知っている	96.4%	96.4%
2 聞いたことはあるが、内容はよくわからない	3.6%	3.2%
3 知らない	0.0%	0.4%

コメント H27→R2 DVの認知度はほぼ横ばい、知らないと回答したのは0人となった。

(2) デートDVについて、知っていますか。

(一つのみ選択)

回 答		令和 2 年度	平成 27 年度
1	知っている	56.0%	62.7%
2	聞いたことはあるが、内容はよくわからない	17.8%	15.5%
3	知らない	26.2%	21.8%

(3) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）を知っていますか。

回 答		令和 2 年度	平成 27 年度
1	知っている	43.1%	49.5%
2	聞いたことはあるが、内容はよくわからない	42.2%	44.1%
3	知らない	14.7%	6.4%

コメント H27→R2 デートDV、DV防止法の認知度ともに減少。

(4) あなたが「DV」にあたると思う行為にチェックをつけてください。

(いくつでも)

回 答		令和 2 年度	平成 27 年度
1	平手で打つ・なぐる・足でける	98.1%	95.5%
2	なぐるふりや刃物でおどす	96.0%	93.6%
3	嫌がっているのに性的な行為を強要する	95.1%	90.0%
4	家族や友人との関わりを持たせない	92.9%	76.8%
5	子どもに暴力を見せる	89.8%	79.5%
6	何を言っても長期間無視し続ける	89.8%	74.5%
7	避妊に協力しない	87.6%	69.1%
8	子どもを危険な目に遭わせる	84.4%	79.1%
9	交遊関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	83.6%	78.6%
10	他の異性との会話を許さない	83.6%	74.5%
11	職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する	82.7%	84.1%
12	「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしょうなし」と言う	81.3%	79.5%
13	家計に必要な生活費を渡さない	78.7%	77.3%
14	大声でどなる	77.8%	84.5%

コメント H27→R2 ほとんどの項目において数値の上昇が見られた。減少したのは「職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する」、「大声でどなる」となった。

(5) DV、デートDVの被害についてお伺いします。

あなたやあなたの身近な人が、配偶者や恋人からの暴力を受けたことがありますか。

回 答	令和 2 年度	平成 27 年度
ある	14.7%	24.1%
ない	85.3%	75.9%

コメント H27→R2 「ある」と回答した人の割合は減少

(6) (5)で「ある」と答えた方にお聞きします。そのような行為を受けたのはどなたですか。

回 答	令和 2 年度	平成 27 年度
自分	42.4%	34.0%
近親者	36.4%	45.3%
知人・友人	27.3%	39.6%
その他	3.0%	1.9%

コメント H27→R2 「自分」と回答した人の割合が増加

(7) 県内にはDV、デートDVに関する様々な相談窓口があることを知っていますか。
知っている相談窓口のすべてにチェックをつけてください。(いくつでも)

回 答		令和 2 年度	平成 27 年度
1	各警察署の相談窓口	55.1%	62.3%
2	市町村の相談窓口	51.1%	56.8%
3	千葉県男女共同参画センター	36.4%	29.5%
4	千葉県女性サポートセンター	29.8%	34.1%
5	千葉県警察本部「サポートコーナー」	29.3%	26.8%
6	女性人権ホットライン	23.6%	28.2%
7	知らない	23.1%	
8	県の健康福祉センター	22.7%	22.3%
9	民間の相談窓口	13.8%	12.7%
10	その他	0.9%	7.7%

コメント H27→R2 認知度が上昇したのは千葉県男女共同参画センター、千葉県警察本部「サポートコーナー」、県の健康福祉センター、民間の相談窓口となり、その他は全て減少となった。

また、今回の調査で「知らない」項目を設けた所、23.1%約4人に1人が相談窓口を知らないという結果となった。

(8) DV、デートDVを防止するためにはどのようなことが必要だと思いますか。
当てはまるすべてにチェックをつけてください。

回 答		令和 2 年度	平成 27 年度
1	学校又は大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う	80.4%	70.9%
2	加害者への罰則を強化する	76.9%	69.1%
3	家庭で保護者が子どもに対し、暴力がいけないことを教える	76.4%	73.2%
4	暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	70.2%	67.3%
5	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	69.3%	66.8%
6	暴力を助長するおそれのある情報（雑誌・コンピュータソフトなど）を取り締まる	53.3%	46.4%
7	地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	40.4%	45.9%
8	その他	4.0%	7.3%

コメント H27→R2 「地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う」以外（その他除く）は増加となった。